

交信する

陽羅 義光

大昔なら手紙しかないが、和歌なんかで交信もある。

しばらく前なら、手紙、葉書に加えて家庭用の電話。

それで昨今は、手紙、葉書は滅多に出さないで、家庭用電話も滅多に使わないで、スマホかパソコンのメール。

各種サイト、ブログ、ライン、ツイッターなんてのもあって、ネット犯罪が後を絶たない。

二十歳過ぎたら自分の事は自分で責任とらねばならないから、そうしてもらおうとして、未成年のスマホとパソコンは、法律で禁止すべきだろう。

もし購入したり使用したら、親が責任をとって監獄に行く。

いまのところ、ネット犯罪から青少年を守るにはこれしかあるまい。

メールなどやらせないで、好きな異性ができた少年少女には、恋文の書き方を学校で教えればいい。

「制携帯」とか「制スマホ」とか、わけのわからぬ事を導入している学校もあるが、この「制」は、「規制」の「制」ではなく、「制服」の「制」のレベルだから、阿呆な学校だ。

老人諸氏は、(食わず嫌いが大半だろうが) スマホやパソコンを駆使する人は少ない。

統計を見たことはないが、若者の百分の一いるかいらないか。

本当は、スマホやパソコンは老人諸氏のための玩具に最適なのであって、若者は相手の顔を見てコミュニケーションをはかるべきなのだ。

だから本当は、スマホとパソコンは、還暦になった者のみ購買許可、使用許可とすればいいのだ。

アメリカのコメディアンが【チェスではコンピュータに負けたけど、キックボクシングなら負けないぞ】と負け惜しみを云ったそうだが、負け惜しみだろうと、若者ならチェスなんかやらずにキックボクシングをやるべきなのだ。

ささやかな失敗は舌を出せば済むが、スマホやコンピュータでの失敗は舌を嚙まねばならない。

政治家は外国と戦争したくて忙しそうだが、スマホやコンピュータの統制とか管理をやらないと、国内での戦争の火ぶたが切っておとされる日が近づいてきている。

「交信」の本質には、そういうオソロシサがあるんであって、嘘だと思ふなら、古往今来の戦争を研究してみるといい。

因みに（誰だったか忘れたが）【貧乏人が起こす戦争がテロで、お金持ちが起こすテロが戦争だ】と云った人がいる。